

「日本海と大地がつくる水と命の循環」

【第56回】

鳥海山で秋を感じる

「鷹見台」

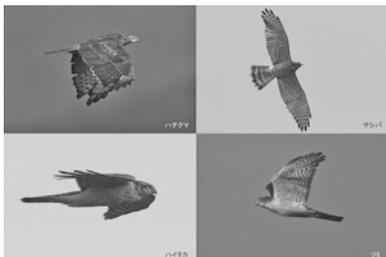


鳥海自然保護官事務所
猛禽類保護センター・鳥海イワシみらい館
希少種保護増殖等専門員

長船 裕紀 氏

日本で確認されたことのある野鳥の種数は約650。実はその半分以上の種が、季節に応じて移動をする「渡り鳥」です。身近な渡り鳥を挙げると、夏鳥ではツバメやカッコウ、冬鳥ではハクチョウ類やツグミ等が有名です。夏鳥は繁殖地として、冬鳥は越冬地として日本に滞在し、秋を過ぎれば、秋は夏鳥が東南アジア等に向かっているのを見送ると同時に、シ

秋の渡りで見られるタカの仲間



秋の渡りで見られるタカの仲間

ベリア等から南下してくる冬鳥を迎え入れる時期。また、北海道や東北などの多雪地から雪の少ない地域へと国内移動する野鳥もいます。

この野鳥の大移動を観察する楽しみ方の一つに「タカ（鷹）の渡り」があります。見晴らしの良い眺望点から、目の前を通過するタカを見る。それらを写真に収めたり通過する数をカチカチとカウンターで数えたりと楽しみ方はさまざま。全国各地に観察スポットがあり、メツカでは1日で1,000羽以上が観察されています。



観察者が呼ぶ「鷹見台」から見た象潟の眺望

鳥海山は全国有数とまではいきませんが、鉢立の登山口周辺は秋季の渡りを見るのに適した眺望地上昇気流に乗ってぐんぐん上昇するタカを間近に見ることができま。今秋は標高1,000mから望む象潟、黄金の稲穂を背景にタカの渡りを間近に見てみませんか。

古代の息づかいを現代へ

遊佐町の文化財紹介

遊佐町の文化財 その56

明治のお雇い外国人による鳥海登山

その1

外国人による本邦最初の本格的な登山は、幕末の万延元年（1860）の初代イギリス公使オルコック

から開国へ転換して間もないこともあり、日本のシンボルともいえる霊峰が異人に穢されたといった反発もあつたようです。

外国人による最初期の鳥海登山は、明治政府から文明開化の指南役を任された「お雇い外国人」の科学技術者たちでした。

外国人による鳥海登山の嚆矢は、大阪造幣寮（現造幣局）に冶金技術者として招かれ、古墳研究の先駆者としても知られるイギリス人のウィリアム・ガウランドでした。明治9年（1876）の夏、造幣寮の同僚のデイロンといっしょに登ったといわれています。

「近代地震学の父」ともいわれるイギリス人のジョン・ミルン

も、明治10年（1877）7月30日、鳥海山に登ったことが、明治20年出版の「日本地震学会紀要（Transactions of the Seismological Society of Japan）」第9巻第2部「に掲載の論文「日本の火山（The Volcanoes of Japan）」によって判ります。

これによると、朝5時半、吹浦から馬の背に乗って出発。三合目の駒止で馬を降り、大平、河原宿、参籠所がある御浜などを経由して、呻吟（しんごう）苦行のうえ午後1時半に山頂に到達しています。鳥海湖や壮大な外輪などの火山地形について説明し、山頂の御本社には数人の巡礼（道者）と二人の神官がおり、御祈祷を勧められ、お神酒を含めて意外にも「refreshing」（清々しいものだった）と述懐しています。



鳥海山大物忌神社
山頂御本社（古絵葉書）

● 関 / 教育課文化係 ☎ 72-5892

教科が好きになる授業

子どもの言葉で授業を創る

「教科が好きでたまらない子どもを育てる授業」を行う授業力を培うために、7月2日(火)に、遊佐小学校に元筑波大学付属小学校副校長の田中博史先生を招き、模範授業と講演が行われました。この日は庄内地域の各学校から約120名もの先生も参加。大勢の先生が見守る中、数字の法則を児童に発見させ、児童自身



田中先生の授業に児童は興味津々！

の言葉でその「きまり」を説明させるといふ内容で模範授業が行われました。田中先生は子どもたちの様子から個々の理解度や積極性などを的確に読み取り、さまざまな手法を用いて「児童が自ら進んで考える」授業を展開。子どもたちは不思議な「きまり」を自分たちで次々と発見していく授業に夢中になり、授業が終わると、「もう終わりなんですか?」「もっとやりたい!」と声が上がりました。

その後の講演会では、先の模範授業や田中先生の授業のDVDを例に、どんな意図で授業を進めていたか、どんな手法を用いていたかななどを詳しく解説。子どもたちはどう考えるのかを踏まえ、「子どもたちが自ら考えようとするプロセスに価値がある」とお話されました。今回の模範授業と講演会を受け、今後この地域でより多くの「教科が好きでたまらない子どもたち」が育つことが期待されます。

謎を解いて宝物を手に入れろ!
西浜海の日イベント

7月15日(月・祝)、西浜海水浴場で海の日西浜イベントが行われました。このイベントは遊佐町総合型スポーツ文化クラブ「遊's」が主催するイベント。この日はビーチフラッグスや、砂浜に隠された宝物を探すビーチトレジャーが行われました。参加者たちは、大人も子どもも一緒になって砂まみれ。笑顔の花を咲かせながら、爽やかな汗を流しました。



宝物はどこに埋まっているかな?

八ツ面川保全池に新しく
水車が設置されました

5月22日(水)に八ツ面川保全池(小原田地内)に新しく水車が設置されました。設置は「水車工房 山水車(白鷹町)」により行われ、「八ツ面川朝日堰流域水路管理組合」の委員の皆さまから設置に協力いただきました。これからの時期、鳥海山や水車を眺めながら夕涼みにいらしてみたいかがでしょうか。



八ツ面川の景観をゆっくりお楽しみください

● 問 / 地域生活課環境係 ☎ 72-5881

フォト トピックス

Photo
Topics



被災地へ思い届ける



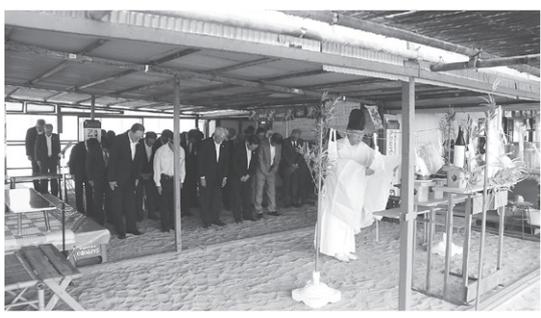
7月4日(木)、藤崎小学校児童会より、平成28年熊本地震災害への義援金17,180円が町へ届けられました。義援金は日本赤十字社を通して被災地に届けられます。ありがとうございました。

平和への願い新たに



7月5日(金)、生涯学習センターにおいて戦没者追悼式が行われました。当日は253人が参列し黙とうを捧げ、戦没者の冥福を祈りました。また、遊佐中学生3人が平和の作文を朗読し、平和への誓いを新たにしました。

さあ海で遊ぼう！



7月12日(金)、西浜海水浴場で海開きに合わせ安全祈願の神事が行われました。水の事故には気を付けて、思いっきり夏の海を楽しみましょう！



今年も少年議会の取り組みに期待が持たれます！

6月23日(日)、役場議事所で第17期少年町長・少年議員の当選証書付与式と、第1回少年議会が開催されました。少年町長には齋藤愛彩さん(羽黒高校2年)が就任。少年議員には齋藤翼さん(遊佐中学校1年)、池田涼人さん(同2年)、土門結音さん(同2年)、佐藤壘さん(同3年)、池田緩菜さん(酒田西高校1年)、後藤乃愛さん(遊佐高校2年)、鈴木香乃子さん(同2年)、石垣千里さん(酒田東高校3年)、高橋菜穂さん(酒田南高校3年)の9名が就任しました。

第17期遊佐町少年議会スタート！

遊佐町四大祭「戴邦碑祭」



奉納されたおすわり大黒舞

7月16日(火)、江地の玉龍寺で遊佐町四大祭の一つ、「戴邦碑祭」が行われました。戴邦碑祭は、天保11年(1840年)、当時の庄内藩主酒井侯へ下された越後長岡への転封(幕府が大名を別の領土へ移すこと)を、嘆願運動で覆した領民らの偉業を称える祭り。毎年、転封中止の吉報もたらされた7月16日に行われていきます。この日はおすわり大黒舞の奉納や、当時の嘆願運動のビデオ上映なども行われました。式典には藤崎小学校児童も参加し、町の歴史を学びました。

まちかど ホットライン



読者の広場

未就学児が安心して自転車に乗られる場所を …匿名

未就学児や小学校低学年の児童が、安全に安心して自転車に乗れる場所の整備をお願いしたいです。ご検討をよろしく願います。

〔答〕貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

道の駅鳥海ふらつとに隣接した都市公園遊ぼつとでは自転車の無料貸し出しをしており、園内をサイクリングすることができます。また、管理棟のそばにはちびっこ広場も用意されており、安全に自転車の練習等を行うこともできますので、ぜひご利用ください。

この他にも、遊佐町総合福祉センター隣の遊佐児童遊園地および蕨岡まちづくりセンター隣の蕨岡児童遊園地も自転車の乗り入れ、園内の自転車利用が可能な遊園地です。遊具も設置しておりますので、こちらも児童、保護者様と一緒に利用ください。

● 問 / 地域生活課管理係

☎ 72-5883

健康福祉課子育て支援係

☎ 72-5897

めざせホールインワン!

第11回遊佐町長杯グラウンド・ゴルフ大会

6月29日(土)、遊佐町総合運動公園(鳥海パノラマパーク)で第11回遊佐町長杯グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。今年も各地区から計172名の選手が出場。8ホール3ラウンドの計24ホールを回り、スコアを競いました。例年は各地区の上位スコアでの団体



あど少しでホールインワンだっけ〜!

戦でしたが、今年は個人戦でのプレー。順位を競うライバルたちと切磋琢磨しながら、あるいは和気あいあいとホールを回りました。

思いやる気持ちを育む
遊佐中学校で認知症サポーター

養成講座&思春期講話

7月4日(木)、遊佐中学校のランチルームで認知症サポーター養成講座が、オープンスペースでは思春期講話が行われました。

遊佐町のキャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座では、中学2年生を対象とし、認知症とはどういうものなのか、認知症の人にどんなことをしてあげるることができるかなどをビデオや寸劇を通して学習しました。生徒たちには、認知症について正しく理解し応援できるようにした証として、最後にオレンジリングが渡されました。



対応の基本は「急がせない」「驚かせない」「心を傷つけない」

思春期講話では中学1年生と3年生を対象とし、助産師・思春期保健相談師の後藤敬子さんが、命の大切さについてお話されました。命が生まれてくるまでには多くの障害があり、生まれてきた命はそれを乗り越えるだけのたくさんの愛を受けてきたこと。たくさん愛を注いでくれた親への感謝の気持ちや、自他の命の尊さを学びました。



生まれてきたことの尊さを学びました

今日のパパは先生!

遊佐小学校でファミリートーク

7月6日(土)、遊佐小学校でファミリートークが開催されました。ファミリートークとは、児童の保護者の皆さんが先生となり、さまざまな仕事について特別授業を行う取り組み。今年には農業や整体、魚の調理や環境、ワークシoppなど、バリエーション豊かな



那須 大介さん(西浜)

Daisuke Nasu
平成10年生まれ

活気溢れる吹浦をめざして!

■一言／

今年の4月から吹浦のまちづくりセンターに勤めています。今まではさまざまなイベントに参加する側でしたが、主催する側の立場になり、その大変さを実感しているところです。まち協のイベントには、自分と同世代に近い若者の参加者が少ないので、若者も楽しんで参加できるような取り組みを考えて行きたいです。また、高齢者と子どもたちが触れ合えるようなイベントもできればと思っています。

元々歌を歌うことが好きだったのですが、最近になりギターを覚えました。実家が以前カフェ兼ライブハウスのようなものをしており、楽器の類がたくさんあったので、ギターを手に取り、インターネットで調べながら独学で練習しています。最近は、自分の部屋で弾き語りをするのが楽しみのなっています。

■町への要望／

高校生の頃から感じていたことなのですが、町内にも学生がアルバイトなどの社会経験を積めるようなお店があると良いと思います。

自分の子や子の友達に授業をするとのこと、講師の皆さんも準備万端。さまざまな小道具を用い



昔の農業は馬(?)を使っていたんだって!

吹浦小学校の児童たちは、この日に先駆けて事前に能楽に関するワークショップを行い、最後に読み上げられる「千秋楽は民を撫

7月12日(金)、吹浦小学校で宝生流宝生会の皆さんによる能・狂言の巡回公演が行われました。この取り組みは文化庁が主催する「文化芸術による子供育成総合事業」の一環。この日は能楽についてわかりやすく解説しながら、狂言「柿山伏」と能「黒塚」の2曲が演じられました。



狂言「柿山伏」

先生たちが授業を行いました。また、今年には保護者以外にも地域の方々にも参観をご案内し、地域・学校・PTAが一体となった、まさにコミュニケーションスクールを体現した取り組みとなりました。

日本の伝統芸能に触れる 吹浦小学校で能・狂言の公演

で」で始まる小謡を一緒に歌うなど、より身近に能を体験しました。6年生の奥山和樹くん(12)は「知らない言葉が多くて最初はよくわからなかったけど、演目を見てみると動きで感情を表現していることがわかって楽しかった」と、能楽の楽しさをコメントされました。

集落支援員だより

東京での移住相談イベントに参加



イベントでの様子

6月29日(土)東京都大手町で「ショウナイズカンLIVEin東京」と同時開催の「やまがたハッピーカフェ」に遊佐町ブースで参加しました。就転職・移住相談イベントで庄内地域の企業15社と自治体2市3町が出展し、約90名が来場しました。Uターン希望の庄内出身者が多かったのですが、遊佐を知らない方もおり、遊佐が移住候補地の1つとなるように、町の自然、食、移住支援、地域おこし協力隊募集等の情報提供をいたしました。私たちが東京に出向いて直接説明をすることで、Uターンしやすくなればと思っています。

集落支援員 渋谷一行、佐藤正子

☎72-3981 FAX28-8455 (集落支援員事務所：Aコープゆざ店2階)



遊佐町プレミアム付商品券に関するお知らせです

プレミアム付商品券とは・・・

- 目的……………消費税・地方消費税の10%への引上げが所得の少ない方（住民税非課税の方）・小さな乳幼児のいる子育て世帯の方の消費に与える影響を緩和することを目的として、プレミアム付商品券の販売を行います。
- 商品券の金額…25,000円分の商品券を20,000円で購入できます。（5,000円分ずつ分割で購入できます。）
- 使えるお店……事前に登録していただいている町内の商品券取扱い事業所。
- 購入できる方…下記の対象①②の方です。いずれの対象の方にも、郵便で書類を送付します。

対象者

①令和元年度の住民税が非課税の方
（住民税課税の方と生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護を受けられている方を除く）
※住民税未申告の方は、申告が必要です。

②平成28年4月2日から令和元年9月30日の間に生まれた子のいる世帯の世帯主
※購入可能額は対象の子の人数 × 25,000円分です。

申請受付

令和元年8月15日(木)～令和元年11月29日(金)
対象と思われる方に申請書を送付します。記載内容を確認の上、交付申請の手続きをお願いします。
※申請手続きは、役場1階会議室にて随時受付・もしくは郵送でも対応します。

②の対象者は申請が不要です。

購入引換券交付

9月下旬以降
申請書の審査を行い、対象者に購入引換券を郵送します。

9月下旬以降
平成28年4月2日から令和元年8月31日までに生まれた子のいる世帯の世帯主に、購入引換券を郵送します。

10月中旬以降
令和元年9月1日から令和元年9月30日までに生まれた子のいる世帯の世帯主に、購入引換券を郵送します。

購入期間

令和元年10月1日(火)～令和2年1月31日(金)
遊佐町内のお近くの郵便局(遊佐・蕨岡・藤崎・高瀬・吹浦)等で商品券を購入できます。購入時には必ず購入引換券と身分証明書が必要です。(代理人による購入も可能です)
※引換券・販売期間等に関する詳細については、町のホームページまたは、購入引換券郵送書類の記載内容にてご確認ください。

使用期間

令和元年10月1日(火)～令和2年2月28日(金)
町内の商品券取扱い事業所で、遊佐町プレミアム付商品券をご使用いただけます。



プレミアム付商品券公式キャラクター「カクニャン」

- 「遊佐町プレミアム付商品券」取扱い事業所登録について
商品券の取扱い事業所は事前申込が必要となります。まだ登録が済んでいない町内事業所については、遊佐町商工会（TEL72-4422）へご相談願います。
- 制度概要、DV避難者・東日本大震災避難者等へのご案内については、下記URLにてご確認ください。
内閣府HP：<https://www.02premium.go.jp>
- 問／企画課企画係 ☎72-4523